

東海村議会議員 みち ひろ よしだ充宏

Eメール : [yoshida@tokai-tsukurukai.jp](mailto:yoshida@tokai-tsukurukai.jp)  
ホームページ : <http://www.tokai-tsukurukai.jp>  
Facebook : <http://www.facebook.com/tokai.tsukurukai>

発行人：明日の東海村を創る会  
(よしだ充宏後援会)  
発行責任者：会長 鈴木政浩  
東海村白方1586-3 TEL 029-282-8666

## 村議 インタビュー

～よしだ村議に聞きました～

- Q1：村議の仕事について
- Q2：今までの議員活動について
- Q3：東海村の長所と短所について
- Q4：これからの東海村について

### みちひろ よしだ充宏 プロフィール

- 自宅：東海村白方
- 家族：妻、一男三女、両親と同居
- 年齢：55歳
- 地域活動：観光協会会員、東海ライオンズクラブ会員
- 趣味：薪作り、読書、映画鑑賞etc
- 好きな言葉：「一期一会」  
(その時、その出会いを大切に)
- 信条：明るく・楽しく・元気よく  
(前向きに生きること)
- お酒：全く飲めません



## ◆ 議員活動の中で一番大事で基本であることは村民のみなさまのお話をお聞きすること。

Q1：東海村村議の仕事とはどのような内容ですか。

東海村村議の仕事ですが、主に村長が執行する行政運営、たとえば提案される案件などを議会の場でチェックし、質問し、必要があれば提言することです。

そこで重要なのは、提案された案件が村民のためになっているのかどうかを確認することであり、そのために、住民の声を聴くことだと思います。私も後援会だけでなく、観光協会、ライオンズクラブなど住民が集う場へ出かけ、多くの住民と出会い話す機会を積極的に作っていますが、現実には、まだまだ一部の住民の声しか聞いていません。

「議員活動の中で一番大事で基本であることは、村民のみなさまのお話をお聞きすること」を肝に命じて、いつかは村民みなさま全員のお話をお聞きする意気込みでこれからも頑張ります。

## ◆ 一期生の私の理想を実現するには、まだまだ経験不足でした。

Q2-1：約3年半の議員活動を振り返って、良かった点、悪かった点があれば教えてください。

「原子力発祥の地 世界の東海村」を人類社会や未来に貢献できる村として継続・発展させるため、東海村村議として多くの事を実現させたかったのですが、正直思ったことの1/2程度しか実現できませんでした。

議会で提言していますが、総論賛成、各論反対で執行部から認められないことがあります。大きなことを提案するより身近なことを提案した方が実現可能ではありますが、夢の実現に向け、粘り強く言い続けたいと思っています。

住民の声なき声をできる限り自分で感じるために、積極的に動き、自分なりにできる限りのことをやってきたつもりです。議員になってからの苦労もありますが、私の頑張りが私を応援してくれる方々、如いては東海村民にプラスになるのであれば良いと思っています。

Q2-2：悪かった点についてですが、どのように反省し改善していきますか？

議員側からの政策提案をもっと行うべきです。執行部提案への質疑が主体ではなく、議員側からの政策提案をもっと必要だと思います。

そのためには、村民の方々の不平不満や将来への夢などを老若男女問わず、たくさんお聞きすること。そして議員同士や会派の中で政策立案の議論をどんどんやる必要があると思っています。



ちなみになんですが、東海村で好きな場所や好きなところはどこですか？

特に「東海村十二景」は好きです。

「春夏秋冬」の季節ごとに違った素晴らしい景色が広がっていますので、一年中楽しめます。時間が出来れば訪れて、癒されています。冬は村松晴嵐がオススメです。



東海十二景「村松晴嵐」 東海村観光協会HPより

## ◆ 本村には原子力という資源がある！ 行政も我々も更なる知恵と努力が必要です！

Q3-1：議員活動を通じて、感じた東海村の長所、短所を教えてください。

本村には原子力という資源があり、原子力関連の税金、交付金など他の市町村に比べ豊富な財源を有しており、他市町村が出来ないことを行ってきました。この資源を有していることが東海村の最大の長所だと村議になって改めて確信しました。

東海村の発展は、原子力と共にありました。では、これからはと言うと、やはり原子力と共に発展していく村ではないかと考えています。

しかしながら、村がお金を持っているから行政も我々も知恵と努力が欠けているようにも感じたし、村の収入も原子力関連事業者等に頼り過ぎているように感じます。

観光協会、村内イベント、ライオンズクラブの打合せ・活動に出席して感じたのは、「東海村を盛り上げたい」、「住みよい街にしたい」と考えている住民がたくさんいます。これからの東海村は皆さんの率直な意見や柔軟な発想をうまく村政に反映し、より良い東海村に変えていかなければならないと思います。

Q3-2：東海村の長所を活かすためにはどうすればいいですか？

やはり行政まかせや人まかせにするのではなく、「何でも自分たち全員で、力を合わせてやっていく」という姿勢がとても大事だと思います。これを子どもたちにも引き継いでいってもらえれば東海村はすてきな村になっていくと思います。

## ◆ 「まち・ひと・しごと創生」は2040年を見据えています。ですので、持続可能なまちづくりのためには、雇用確保が必須です！

Q4-1：これからの東海村にとってこれが必要だ、クリアしなければいけない重要な課題だと吉田さんが強く感じているものを教えてください。

「まち・ひと・しごと創生」の実行実現に向けた活動です。これは私が掲げる基本政策と方向性が同じです。今後の東海村の計画は、「まち・ひと・しごと創生」の総合戦略が指標となるため、行政の計画と実施状況をチェックするとともに、新たな施策をドシドシ提案して行きたいと思っています。

「まち・ひと・しごと創生」は2040年を見据えています。人口ビジョンのアンケートから見ても持続可能なまちづくりのためには、雇用確保が条件であることは明らかです。

東海村は原子力関連産業で発展してきました。東日本大震災を機に原子力産業が今までのような右肩上がりはありませんが、現状維持は可能と考えます。

東海村は、原子の火を灯した誇りと責任があります。

東海村は、原子力に関して最先端であり、世界の東海村であり続けるべきと考えています。



## ◆ 東海村は、原子力に関して最先端であり、世界の東海村であり続けるべきと考えています。

Q4-2：世界の東海村として、今後はどのような原子力に対する取組みが必要だとお考えですか。

私としては東海村として以下の5点が大事だと思っています。

1点目は、エネルギーの安定供給のためにも「原子力エネルギー」の有効活用です。東海第二発電所の再稼働は、当事者である日本原子力発電(株)が東海第二発電所の再開を宣言する必要がありますが、村民から再開を要望するよう働きかけたいと思います。勿論、再稼働のためには、「原子力規制委員会による新規規制基準審査に合格すること」と「緊急避難計画などが整うこと」が必須条件であることに変わりはありません。二つの条件がクリアしたならば、東海村民にしっかりと丁寧に説明し理解を得ることが必要不可欠であります。

2点目は、原子力の新たな可能性の実現のため「J-PARCの活用」が必要です。原子力のパイオニアとして、最先端の研究成果を活かし、新産業の創出を目指す必要があります。

3点目は、廃棄物の処分軽減のため「放射性核種の消滅処理への挑戦」です。「放射性核種の消滅処理への挑戦」は、東海村が原子の火を灯した責任としてバックエンド問題の新たな1ページを開くために、東海村で研究する意味は大きいと考えています。東海村として重要な責務であり夢とロマンにもつながると考えています。是非、実施したいと思います。

4点目は、エネルギー自給率のアップ及び安全保障のための「核燃料サイクルの技術開発」です。東海再処理工場は、廃止措置を進めることとなりましたが、六ヶ所の再処理工場は、これから本格運転を行います。核燃料サイクルの確立という実用化を目指して、東海再処理工場の一部を活用した技術開発が必要と考えています。

5点目は、軽水炉の更なる安全を目指すため、「安全研究」が必要です。原子力エネルギーの利用のためには安全確保が一番重要であり、その基礎基盤研究は、施設と人材がそろっている東海村で行うのが一番理にかなっています。



Q4-3：原子力以外についてはどのような取組みに力を入れるべきでしょうか。

雇用確保だけでなく、若い世代が東海村を選んで就職し定住してくれることが大事です。

東海村は、村内に張り巡らされたインフラ施設や村独自の福祉施策・教育施策など各種行政施策が充実しています。「村の住みやすさ」や「子育てのしやすさ」について高いレベルの評価を受けています。今後、村の特性を十分に生かした雇用創出や充実した妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に重点的に取り組み、最終的に私が目指す「子どもたちが戻ってくるふるさと」「親子三代で近居できる楽しい人生」の実現に向けて、本村の魅力を十分に発信し、伝える取組みに努力していかなければなりません。

Q4-4：最後に東海村民の皆様へ一言メッセージをお願いします。

村民のみなさんが何か困っていらっしゃる時に、「とりあえず吉田くんに言ってみるか！」と頼りにしていただけるようになりたいです。とにかく村民の皆さまに「信頼される議会機能、政治活動を発揮」できるように切磋琢磨していきたいと思っています。